

第23回 椋鳩十児童文学賞 受賞作品決定

《受賞作品》 石井 和代 作 『山の子みや子』

第23回 椋鳩十児童文学賞の選考委員会が平成25年3月22日(金)に開催され、受賞作品は、石井和代さんの『山の子みや子』(出版社: ㈱てらいんく)に決定しました。

椋鳩十児童文学賞は、日本を代表する児童文学者 椋鳩十氏の業績を永く顕彰するとともに、新たな児童文学者の発掘と児童文学の発展に寄与するために、平成2年に創設したもので、これまでの受賞者の方々は様々な分野でそれぞれ活躍されております。

受賞作品決定をうけて、5月8日(水)に鹿児島市・城山観光ホテルで授賞式及び受賞交流会を、6月5日(水)に東京・都市センターホテルで受賞交流会を開催いたします。

森博幸鹿児島市長をはじめ、選考委員である、たかしよいち委員、那須正幹委員、西本鶏介委員、三木卓委員など、多くの方々の参加を予定しております。

●作者プロフィール

石井 和代 (いしい かずよ) 氏

1922年(大正11年) 東京都生まれ 90歳 女性

職業: 無職

住所: 千葉県市川市在住

略歴: 埼玉大学女子部師範学校卒。埼玉県川口市、千葉縣市川市の小学校に47年勤務。創作を岩崎京子氏、砂田弘氏に師事。「かんちゃん」の詩で石川県知事賞、「とうさんの安来節」で愛の会童話第一位、「アフリカシンフォニー」で千葉日報入賞。その他、創作、民話、エッセイ多数。



●受賞作品の紹介

8話で構成される創作、短編集。岩手県田野畑村で山地酪農を営む家族の物語。都会で育ちながらも、山の生活にとびこんだ父親、それを支える母親、兄弟、友だち、牧場の牛、近隣の間人模様・くらしを長女みや子の目を通して描く。自宅に電気が通じることになり、大喜びのみや子、しかし、それには、慣れ親しんだ岩や大樹をなくすことを知り心を痛める。家族一丸となり牛の面倒をみるみや子の家族。厳しい山の生活、牧場のくらしのなかでの家族の絆、幸福、生きるがテーマ。

※取材については、㈱てらいんく 代表取締役 佐相様(さそう) (電話 044-953-1828) を通して
お願いします。

■ 椋鳩十児童文学賞授賞式及び受賞交流会(鹿児島)

日時: 平成25年5月8日(水) 授賞式 10:00~11:00 交流会 11:15~12:00

会場: 城山観光ホテル(鹿児島市新照院町41番1号)

■ 椋鳩十児童文学賞受賞交流会(東京)

日時: 平成25年6月5日(水) 18:00~20:00

会場: 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2丁目4番1号)

※ 関連HP: <http://www.city.kagoshima.lg.jp/> (鹿児島市ホームページ)